



地域密着型金融の取組み状況について ～金融仲介機能のベンチマーク～ (2021年度)



金融仲介機能のベンチマークについて

＜地域密着型金融の推進に関する基本方針＞

- ① お客さま・地域のニーズを十分に把握し、応える取組みとします。
- ② お客さま・地域の成長とともに《さいしん》も成長できる、持続可能な取組みとします。
- ③ 専門性の高い金融機関として、お客さまを支える取組みとします。

当金庫では、「地域の発展に貢献します」「お客さまの夢と共に歩みます」の経営理念のもと、「地域密着型金融」の推進に係る取組みを経営計画の中核とすることで、その深化・発展に努めております。

金融庁より2016年9月に公表された「金融仲介機能のベンチマーク」を客観的な指標とし、今後も基本方針に基づく良質なサービスの提供を通じて、《さいしん》独自の価値を作り上げてまいります。

「金融仲介機能のベンチマーク」とは

2016年9月、金融庁が策定した金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標のことです。

「共通ベンチマーク」	全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況等を客観的に評価するための指標
「選択ベンチマーク」	各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標
「独自ベンチマーク」	各金融機関が自己評価するうえで、相応しい指標がある場合には独自に設定できる指標

金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2022年3月31日

1-1. 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

- メインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標等の改善が見られた先の数、及び同先に対する融資額の推移（共通ベンチマーク）

当金庫メイン取引先数	うち経営指標等の改善が見られた先①	①の先に係る融資残高の推移		
		2022/3	2021/3	2020/3
5,121先	1,975先	1,356億円	1,308億円	1,080億円

- ライフステージ別の与信先数、及び融資額（共通ベンチマーク）

(単位:社、億円)	全与信先	ライフステージ				
		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	17,937先	1,825先	1,396先	10,710先	1,512先	754先
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	6,803億円	309億円	669億円	4,787億円	461億円	274億円

- 中小企業向け融資や本業支援を主に担当している支店従業員数、及び全支店従業員数に占める割合（選択ベンチマーク）

全支店従業員数①	上記業務担当従業員数②	②/①
1,313名	505名	38.5%

- 中小企業向け融資や本業支援を主に担当している本部従業員数、及び全本部従業員数に占める割合（選択ベンチマーク）

全本部従業員数①	上記業務担当本部従業員数②	②/①
573名	76名	13.3%

※与信先 = 融資取引のある法人

金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2022年3月31日

1-1. 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

■ 埼玉県中小企業診断協会と連携した早期経営改善計画策定支援事業【さいしん経営ドック】（独自ベンチマーク）

<認定支援機関による早期経営改善計画策定支援事業；2017年開始>

中小企業等の多くが自社の経営や資金繰り管理に悩みを抱える中、こうした中小企業等を対象に、中小企業経営力強化支援法に基づき認定された経営革新等支援機関（＝認定支援機関）が、中小企業等の依頼を受けて経営改善計画策定等の支援を行うことにより、早期の経営改善を促進する事業です。

<さいしん経営ドック；2020年開始>

当金庫と提携している埼玉県中小企業診断協会より紹介を受けた中小企業診断士が、企業の現状把握や分析を行い、アクションプランや損益計算書等の作成を支援します。第三者の客観的な視点から見た企業の現状を分析し、今後の改善施策を織り込んだ計画を策定することで、企業にとって自己の経営を見直す契機となっています。

中小企業の経営者は経営のアドバイスを受ける機会も少なく、これまでの経験で経営している場合もあり、誰かに相談したいというニーズは多くあります。当金庫ではこのようなニーズに真摯に応えることで、中小企業の発展を支援しております。

2020年度申込み件数	2021年度申込み件数	申込み件数累計
73件	71件	144件

■ 中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況（共通ベンチマーク）

条件変更先総数	好調先	順調先	不調先
959社	28社	10社	112社

■ 中小企業再生支援協議会の利用先数（選択ベンチマーク）

中小企業再生支援協議会利用先数
46先

金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2022年3月31日

1 - 1. 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

■ 「ささらの会」を活用した取引先企業の成長支援（独自ベンチマーク）

若手経営者や後継者を対象に「経営者としての意識の醸成」、「経営管理手法と実務知識の習得」、「人脈ネットワークの形成」を通じた経営力向上支援により、地元中小企業の発展、地域の活性化に資することを目的として、2009年よりさいしん若手経営塾を開講しています。2017年4月20日には経営力の更なる向上、継続的な異業種交流を図るため、若手経営塾の卒業生を対象に会員組織「若手経営者の集い ささらの会」を設立しました。

実務家講師による講演会の開催、会員企業視察研修、ビジネスマナー研修等の具体的な活動を通じて取引先企業の成長支援を図っております。

2021年度は、人的ネットワーク醸成と情報発信の為Facebookグループを開設しました。その他、ウィズコロナにおける活動として、リアルセミナー・オンラインセミナーを計3回開催しました。

設立時の会員数	2021年度末の会員数	2021年度実施事業の実績
248名	159名	・ 6月 ささらの会Facebookグループの開設
		・ 6月16日 第4回通常総会（書面表決）
		・ 7月21日 オンラインセミナー「事業再構築補助金セミナー」の開催
		・ 12月3日 リアルセミナー「コロナ禍の金融機関対応」の開催
		・ 3月8日 オンラインセミナー「助成金活用・F&Mクラブ活用セミナー」の開催

金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2022年3月31日

1 - 2. 最適なソリューションの提案

■ 当金庫が関与した創業支援件数（共通ベンチマーク）

当金庫が関与した創業支援件数

681件

■ 地元中小企業融資における無担保融資先数、及び無担保融資額の割合（選択ベンチマーク）

地元中小与信先数①	地元中小向け融資残高②	無担保融資先数③	無担保融資残高④	③／①	④／②
17,766先	6,508億円	13,513先	2,893億円	76.1%	44.5%

■ 地元中小企業与信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合（選択ベンチマーク）

地元中小与信先数①	根抵当権未設定先数②	②／①
17,766先	14,364先	80.9%

■ 中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付融資額の割合、及び100%保証付融資額の割合（選択ベンチマーク）

中小企業向け融資残高①	保証協会付融資残高②	100%保証付融資残高③	②／①	③／①
6,522億円	2,542億円	8億円	39.0%	0.1%

※与信先 = 融資取引のある法人

金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2022年3月31日

1-2. 最適なソリューションの提案

- 経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び全与信先数に占める割合（選択ベンチマーク）

全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②/①
17,937先	4,057先	22.6%

- 全与信先に占める金融商品の販売を行っている先の割合、及び行っていない先の割合（選択ベンチマーク）

全与信先数①	金商販売先数②	金商未販売先数③	②/①	③/①
17,937先	230先	17,707先	1.3%	98.7%

- 運転資金に占める短期融資の割合（選択ベンチマーク）

運転資金額①	短期融資額②	②/①
4,727億円	1,194億円	25.3%

※与信先 = 融資取引のある法人

金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2022年3月31日

1-2. 最適なソリューションの提案

- 一般社団法人さいしんコラボ産学官を活用した取引先企業の経営力向上支援（独自ベンチマーク）
 - ・ 大学、企業ならびに公的研究機関等と連携し中小企業の抱える課題解決、販路拡大、知財保護に取り組んでいます。産学官連携による研究開発を促進し、新商品・新産業の創出により地域経済の活性化を図るため会員企業表彰、大手企業等が保有する開放特許を活用した学生アイデア発表会を実施しています。

2021年度表彰企業	表彰企業累計（2007年度より）
6社	84社

- ・ 2016年8月、特許庁委託事業「地方創生のための事業プロデューサー派遣事業」の事業プロデューサー派遣先機関として選定され、事業プロデューサーが派遣されました。当初の目的を達成し3年度に亘ったこの事業は終了しましたが、引き続き委託して中小企業支援に取り組み2021年度の支援企業数は144社（うち継続支援企業数70社）となっており、中小事業者の特許活用、販路拡大の促進につながっております。
- ・ 学生アイデア発表会については主催5年目の前年度は大学7校、専門学校1校から14チームが参加して事業化を目指すプレゼンテーションが行われ、6チームが入賞。県内中小企業を中心に全アイデアを対象として事業化を推進いたします。
- ・ 会員企業表彰は16件のエントリーから優秀賞2社、特別賞2社、埼玉県地域産業資源活用賞1社、SDGs賞1社を選出。マッチング、販路拡大に協力いたします。

金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2022年3月31日

1-2. 最適なソリューションの提案

- 業務提携または、企業・団体との連携によるお取引先企業の販路拡大支援（独自ベンチマーク）

○ 「さいしんビジネスフェア2021」開催による販路拡大支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点と、ウィズコロナ時代の新たな価値の創出という2つの観点から、「オンライン」と「リアル」双方の特性と利点を活用した展示・商談会を開催しました。

オンライン出展ブースには301事業者、リアル会場には100事業者が出展され、約700件の商談のうち、52件の商談が成立しました。

【オンライン会場】5月10日～6月30日 特設WEBサイト

【リアル会場】6月9日 さいたまスーパーアリーナ



○ 《さいしん》特産品オンラインショップ「粋」開設

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続くなか、第1弾：5月10日～8月9日、第2弾：10月25日～1月24日の期間限定で中小企業・小規模事業者の販路拡大支援および新たな販売チャネルの提供を目的に、食品ECサイト「《さいしん》特産品オンラインショップ～粋(すい)～」を開設しました。

当金庫の取引先事業者に加え、全国の信用金庫の協力のもと、第1弾では110事業者、第2弾では109事業者が出店されました。2回の開設を通し、6,309品29.2百万円の売上を計上しました。EC販売へ初挑戦となるお取引先企業も多く、中小企業・小規模事業者のDXへの第一歩ともなりました。

金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2022年3月31日

1-2. 最適なソリューションの提案

- 業務提携または、企業・団体との連携によるお取引先企業の販路拡大支援（独自ベンチマーク）

○ 圏央道の宝物 セミナー&グランプリ開催

圏央道沿線の5つの信用金庫による連携協定「しんきん圏央道アライアンス」において、圏央道沿線地域の生産者・製造事業者同士のコラボレーションによる新たな商品開発や広域での発信を応援する「圏央道の宝物 セミナー&グランプリ」を開催しました。

この取組みは、日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援スキーム「信用金庫の広域連携による圏央道沿線地域の『地域資源』『地域産品』の発掘・発信プロジェクト」の一環として実施し、前年に引き続き2度目の開催となりました。

業界と地域を越えた全3回の対話型セミナーを経て、グランプリには18組（のべ29事業者）が参加し、その成果を発表しました。

「しんきん圏央道アライアンス」の取組みは、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が公表する令和3年度「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に選定され、3月16日に野田聖子内閣府特命担当大臣(地方創生担当)より表彰を受けました。



金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2022年3月31日

1 - 3. 事業性評価の取組み

【事業性評価の定義】

お客さまとの継続的な対話を通じて、お客さまの事業内容や事業の成長可能性などを適切に評価し、財務内容や担保・保証に依存することなく融資や助言等の企業支援を行うこと。

- 事業性評価に基づく融資を行っている与信先数、及び融資残高（共通ベンチマーク）

先数	融資残高
3,393先	2,005億円

- 上記計数の全与信先数、及び当該与信先の融資残高に占める割合（共通ベンチマーク）

先数	融資残高
18.9%	29.5%

※与信先 = 融資取引のある法人